

本書は、『私の作法』です。村岡秀明先生が、『私の作法』の「監修にあたって」で述べておられますように、月刊「デンタルダイヤモンド」誌上で、私の原稿作法の連載が始まったのは、1995年のことです。以後、このコーナーは「作法シリーズ」としてテーマを変えて連載され、現在でも続いているロングランの企画になりました。

本書には、「患者対応」「待合室」「ミーティング」作法をテーマにしたものを収載しました。「患者対応」作法は2001年、「待合室」作法は2006～2007年、「ミーティング」作法は2008年に掲載されたものです。

日常診療において、患者さんとの会話、診断結果や治療内容の説明はますます必要不可欠になり、言葉が医療行為として求められることはあたりまえになりました。しかしながら、人と話すことが苦手な若者が増え、歯科学生も例外ではなく、患者さんとの会話をスムーズに行うためのカリキュラムが組まれるようになりました。また、審美に象徴される

ように、患者さんの歯科治療に対するニーズと満足度はますます高まる傾向が強く、それに伴い快適な診療空間や的確な情報を提供することも重要な課題となってきました。

「患者対応」作法は、10年前に企画され、「待合室」「ミーティング」作法と続きましたが、『私の作法』はこのような時代背景から生まれたもので、現代社会でもさらに重視される内容になっています。

「患者対応」「待合室」「ミーティング」作法は、患者さんを主体とした歯科診療を行うという考え方が基本にあり、各先生がどのような歯科医院を作りたいのか、その考え方や考えを誘ったルーツ、および取り組み方をお書きいただいています。

本書をお読みになると、読者の先生の作法を貫いた医院作りのお役に立てただければ幸いです。

すばらしい患者さんとのワールドができましたならば、編集部が取材につながりますので、ぜひご一報くださいますようお願いいたします。